

## RTC Builder - バグ #1528

コンフィギュレーションタブのデータ型でリストアップされる型をプリミティブ型(+string)だけにする。

2010/05/25 14:58 - kurihara

ステータス:	終了	開始日:	2010/05/25
優先度:	通常	期日:	
担当者:	ta	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
<b>説明</b> 現在、コンフィギュレーションタブのデータ型では、RTMのIDLで定義されているデータ型がプルダウンメニューにリストアップされるが、これらのIDLで定義された型は表示せずに、プリミティブ型(bool,char,byte,short,int,long,float,double) + stringだけをリストアップするようにする。 また、いままで同様、型を直接入力できる機能は残しておく。			
<b>関連するチケット:</b> 関連している RTC Builder - バグ #1532: コンフィギュレーションタブのデータ型でstringを...      終了      2010/05/26			

### 履歴

#1 - 2010/05/25 19:13 - ta

- ステータスを 新規 から 解決 に変更
- 担当者を ta にセット
- 進捗率を 0 から 100 に変更

修正させて頂きました [r122](#)

#2 - 2010/05/25 22:18 - n-ando

RTCB上のメニューの表記と、各言語における型の対応は以下のようにする。

RTCB上の型, C++, Java, Python  
bool, bool, Boolean, bool  
short int, short int, Short, 整数  
int, int, Int, 整数  
long int, long int, Long, 整数  
float, float, Float, 小数点数  
double, double, Double, 小数点数  
string, std::string, String?, 文字列

#3 - 2010/05/26 10:50 - kurihara

- ステータスを 解決 から フィードバック に変更

RTCB上のデータ型の選択項目は変更されている事を確認しました。( [r122](#) )

ただし、生成されるPythonのコードに関しては、コンフィギュレーションパラメータのデータ型をcharとし、デフォルト値をAなどのようにした場合、コンフィギュレーション用のメンバー変数の初期化処理が、下記のように行われてますので、実行時エラーとなります。

```
"""  
- Name: char_val  
- DefaultValue: A  
"""
```

```
self_char_val = [A]
```

以下のようにシングルクォートで囲むようにしてください。

```
"""  
- Name: char_val  
- DefaultValue: A  
"""  
self_char_val = ['A']
```

#4 - 2010/05/26 11:34 - kurihara

RTC上でのコンフィギュレーションのデータ型の選択項目は、bool,byte,charを削除し、(short,int,long,float,double,string)とする。

#5 - 2010/05/27 09:24 - kurihara

-進捗率を 100 から 80 に変更

#6 - 2010/05/28 14:51 - kurihara

"short"がデータタイプリストに入っていなかったため追加しました。 r124

#7 - 2010/05/28 15:49 - kurihara

-ステータスを フィードバック から 終了 に変更

-進捗率を 80 から 100 に変更

変更されている事を確認しました。( [r124](#) )

このチケットは、クローズします。